



●わが社のCSR活動

CSR

TTKグループのCSR活動

株式会社TTK

1. はじめに

TTKグループは「TTKグループ行動指針」として「安全と品質を最優先」、「顧客満足度向上」、「地域社会への貢献」、「コンプライアンス遵守」という4つの重点項目を定めており、これらをCSRの基本方針に位置付け、「地域と共に歩む情報通信エンジニアリング会社」としてさまざまな社会貢献活動を継続して取り組んでいます（図1）。

2. 安全・品質向上への取組み

“私達は安全と品質を最優先します”という理念に基づき、TTKグループで働く人たちの安全とそれを支える技術力の向上を目指して各種の取組みを実施しています。

(1) N-KY・指差し呼称の徹底

平成23年度、24年度と事故が続いたことから平成24年10月に「非

常事態宣言」を発出し、グループ全体で事故撲滅を目指して各種施策を展開してきました。

その施策の1つが「指差し呼称・N-KYの徹底」であり、安全衛生推進会議や安全パトロールで重点的に教育・指導を行っています（写真1）。

また、安全推進期間では、全員が胸にリボンを着用して自ら行動するよう啓蒙しています（写真2）。

(2) TTKグループ合同安全大会の開催

毎年7月にTTKグループ合同安全大会を開催し、協力会社とともに安全意識の向上を図っています（写真3）。

平成25年7月には、人身事故の当事者による「事故の体験談」の発表や協力会社による「我社の安全に対する取組み」の発表があり、事故の恐ろしさや苦しさをあらためて認識するとともに、基本動作の徹底および指差し呼称による確認の徹底等

による事故撲滅を誓いました。

(3) 安全の番人

安全の番人は、安全文化再構築の礎を築く活動の1つとして経験豊富な人材を起用し、平成24年10月より運用を開始しました。現在は社長



写真1 「指差し呼称」研修



写真2 「指差し呼称」啓蒙の胸リボン



写真3 TTKグループ合同安全大会（協力会社による発表）

《TTKグループ行動指針》

わたしたちは、情報通信技術のプロフェッショナルとして、お客様により良いサービスを提供し、社会に貢献します。

- ◎わたしたちは、安全と品質を最優先します。
- ◎わたしたちは、常に創意工夫に努め、確かな技術力とコスト改善により、お客様が満足するサービスを提供します。
- ◎わたしたちは、良き市民としての自覚を持ち、地域社会に信頼されるよう誠実に行動します。
- ◎わたしたちは、法令をはじめとする社会のルールを守ります。

図1 TTKグループ行動指針



写真4 安全の番人チョッキ

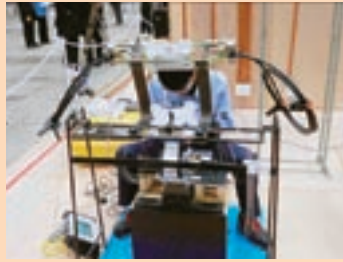


写真5 技能五輪「課題：光接続スピード」に挑む



写真6 研修模様



写真7 コンプライアンス研修

直属の任命で3人を配置し、事故撲滅に向けて、決めたこと、決められたことをしっかり守って作業しているかを第三者的な中立公平な立場で現場安全パトロールを行うほか、元請けの現場マネジメント等の指導・助言を行っています（写真4）。

(4) 技能五輪と技能評価トライアルへの参加

当社では、若手作業員の人材育成と品質向上を目的として、平成20年から技能五輪全国大会へ参加しています（写真5）。平成25年11月開催の大会では「情報ネットワーク施工」職種部門で、敢闘賞に入賞しました。

また、平成26年1月には、厚生労働省主管の「技能評価トライアル（inラオス）」に派遣講師として参加し、アジアの開発途上国の技能レベル向上のために技能評価者育成の研修を行いました（写真6）。

3. コンプライアンス意識の醸成

企業活動においてコンプライアンスの重要性が増しており、法令遵守はもちろんですが、相手目線で社会のルールやマナー等に沿っているかという観点からもTTKグループの1人ひとりの倫理・コンプライアンス意識を高めるため、各種の取り組みを実施しています。

(1) コンプライアンス研修

毎年、グループ社員と協力会社社員を対象にコンプライアンス研修と情報セキュリティ研修を実施しています（写真7）。

現場業務に深くかかわる事例や通信建設業界におけるコンプライアンス違反事例やお客様情報漏洩事故事例を取り上げ、現場作業員までコンプライアンス意識を高めることを目的としています（平成25年度は延べ98回の研修でTTKグループ社員1,218名、協力会社1,474名受講）。

なお、役員、支店長、子会社社長等の幹部向けのコンプライアンス研修も別途実施しており、コンプライアンス経営に対する意識を高めるようにしています。

また、社内ホームページにコンプライアンス事例を載せたメールマガジンの記事を毎月掲載し、継続的に倫理・コンプライアンス意識を醸成しています。

(2) ソーシャルメディア利用ガイドライン

SNS（Facebook、Twitter等）は近年利用者が急増し、人々の生活に非常に身近な情報の伝達手段としてそのメリットを活かし、数多くの企業や自治体等も利用してきています。しかし不注意な情報発信が、ときに思わぬ波紋を呼び従業員や会社を巻き込む大きなトラブルに発展する事例も目立ってきています。

ソーシャルメディア利用にあたっての留意事項として、「会社業務に関する内容は絶対に投稿しない」、「お客様情報や機密情報は絶対に投稿しない」等、TTKグループの従業員として守ってほしい基本原則をガイドラインとして定めました。

(3) 社外相談窓口を開設

現在TTKグループにおいては、従業員等に不正・不祥事の実態、またはその発生の恐れがある場合、「内部通報規程」により、社内相談窓口へメール・電話・手紙等の方法で通報、相談する仕組みとなっておりますが、一層のコンプライアンス体制強化に向けた具体的な取組みとして、社外にも相談窓口を設けました。

4. 地域社会への貢献

TTKは地域に育ち、地域を愛する一員として「地域と共に歩むTTK」をキャッチフレーズに、地域に貢献できるさまざまな活動を行っています。

(1) 仙台国際ハーフマラソン大会への協賛

「地域と共に歩むTTK」をキャッチフレーズに地域社会とのかかわりを大切にしています。中でも地域の大きなスポーツイベントである「仙台国際ハーフマラソン大会」へは平成18年から協賛しており、平成21年からは特別協賛として参画させていただいています。今年5月11日（日）に第24回大会が開催され、過去最高の13,583人のランナーが出場しました（写真8）。当社従業員は給水ポイントでのボランティアやコース沿道からの応援を通じて、大会盛り上げに貢献しています（写真9）。地域の方々と一体感をもってイベントにかかわることができ、地元企業として地域社会とのかかわりをより一層深めることができています。

(2) 清掃・美化活動

毎月3回の事業所周辺清掃活動、地域団体が主催する市街地清掃キャンペーンへの参加（写真10）、ペットボトルエコキャップ回収による資源リサイクル推進など環境貢献活動へも取り組んでいます。まず、すぐに行えること、始められることを実施していき、今後も、地域社会の一員としての責任を果たしていきます。

5. 環境事業

TTKは通信分野にとどまらず、さまざまな可能性にチャレンジしています。その1つが「人にやさしく、自然にやさしい」をコンセプトとした商品の開発・提供をおこなう環境改善事業です。自治体や学校・企業向けに環境にやさしいクリーンなエネルギーとして注目されている「太陽光発電システム」の建設・保守事業や、「TTKベルト式ネット



写真8 仙台国際ハーフマラソン大会「スタート」



写真9 仙台国際ハーフマラソン「給水ポイントでのボランティア」



写真10 社員による街の清掃・美化活動



写真11 太陽光発電「スパイラル型杭」



写真12 太陽光発電「施工例」

フェンス」の販売事業を展開しています。

(1) 太陽光発電システム

情報通信設備の構築に携わった技術やノウハウを活かし、穴建車を使用して施工する「スパイラル型杭」（写真11）を採用しています。この工法は、コンクリート製の基礎を設置する工事に比べ、工期短縮やコスト削減、残土や産業廃棄物の抑制などのメリットがあります（写真12）。

(2) TTKベルト式ネットフェンス

TTKベルト式ネットフェンスは樹脂製のネットフェンスを利用することにより、以下の特徴を有した製品です。

- ・優れた防風・防雪効果
- ・建設、保守が容易で低コスト
- ・優れた耐久性で錆びない
- ・圧迫感が少なく景観を損わない
- ・電波障害が少ない

通年設置する自立型をはじめとして、使用しない時には折り畳む地上

収納型や、基礎工事が不要な仮設型、橋やガードレールに容易に取り付け可能な防護柵取付型など、豊富なバリエーションで環境改善施策としてさまざまな分野で使われています（写真13）。

6. 健康管理と職場衛生

グループ全従業員の健康維持・向上が会社の健全な成長を支えることの認識に立ち、以下の健康対策等の安全衛生活動を推進しています。

(1) 血圧計の設置について

日々の健康管理の取組みとして、本社ビル、各支店等の事務所玄関入口に血圧計を設置し、いつでも、誰



写真13 TTKベルト式ネットフェンス



写真14 血圧計設置



写真15 健康ニュース



写真16 腹筋運動

でも測定ができるようにしています(写真14)。

毎朝、グループ従業員、協力会社作業員等が、現場へ向かう前に自身の健康チェックを行い体調管理を行っています。

(2) 『健康ニュース』の発行について
毎月「健康ニュース」を発行しています(写真15)。

これは、高血圧、糖尿病、高コレステロール血症など生活習慣病や季節ごとの情報(インフルエンザ予防など)を提供し、グループ従業員に対し健康についての意識向上を図る目的に活用しています。この情報は、社内ホームページ、事務所掲示板、トイレなどに掲げるほか、協力会社各社に対してもメール等により情報共有を行い、グループトータルの健康管理に努めています。

(3) 体力測定について

自分の体力の状況を把握するため、平成25年度から安全施工研修会や安全集会において工事従事者の体力測定を実施し、自分はどの年代に該当するのか認知してもらう取組

第4次中期経営計画 スローガン

“[震災まちづくり復興] 事業への貢献と新たなステージでのグループ総合力の展開”

重点項目

1. 「震災まちづくり復興」事業への確実な貢献
2. 工事総合DBシステムによる、先進的・効率的な業務運営体制の定着
3. 施工～設備運営のフルサポート体制と信頼に応える品質の確保
4. 東北全域におけるICT及び環境系ソリューションの提供
5. モバイル事業フルサポート体制の強化(設計～施工～試験)
6. 安全・品質を最優先とする徹底した指導と定着
7. 新たな事業ステージを支える技術者と人材の育成

図2 第4次中期経営計画(重点項目)

みを行っています(写真16)。「自分は若い」と過信せず、「年相応である」と自ら認め作業することが重要であること、健康診断の確実な受診と生活習慣の見直しによる体力の増強が必要であること等を確認しました。

7. おわりに

以上、TTKグループが取り組んでいるCSR活動について紹介をさせていただきました。

昭和30年2月の創業以来、半世紀以上にわたって情報通信設備の構築に携わってまいりました。

この度の東日本大震災では、東北の太平洋沿岸地域で多くの情報通信設備が未曾有の被害を受けましたが、TTKグループは東北を主な地

盤とする情報通信エンジニアリング会社として、被災地の情報通信設備の早期復旧・復興を最重点課題としてグループ総力を挙げて取り組んでおります。

今般策定した「第4次中期経営計画」(平成26年度～平成28年度)では、“[震災まちづくり復興] 事業への貢献と新たなステージでのグループ総合力の展開”として7つの重点項目に積極的に取り組んでまいります(図2)。

今後も、情報通信技術のプロフェッショナルとして、安全と品質を最優先し、安定的で高品質なサービスを提供するとともに、お客様から信頼され満足されるパートナーとして、なお一層、企業価値、株主価値の向上と同時に社会的責任を果たしていくよう努めてまいります。